

【クラブ活動報告】

市立和歌山高校へ冷風機を寄贈

和歌山市内9ロータリークラブ

和歌山市内9ロータリークラブは、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、IM・インターシティミーティングの集いを中止し、記念プロジェクトとして、和歌山市立和歌山高等学校が取り組んでいる子供たちの体と心を育む教育に賛同し、IMスポーツ奨励協力金を贈呈しました。

今年度ホストクラブの和歌山西ロータリークラブを中心に6月29日(水)に和歌山市立和歌山高等学校をで贈呈式をおこないました。贈呈品目は、気化式冷風扇を3台(50万円相当)を寄贈しました。

和歌山新報 掲載記事


市高に冷風扇を寄贈

和市9 R Cがスポーツ応援で

和歌山市内の9ロータリークラブ(RC)は、危険な暑さが続き熱中症に厳重な警戒が必要とされる中、スポーツをする子どもたちを応援しようと、同市六十谷の市立和歌山高等学校に気化式冷風扇3台を寄贈した。

同クラブが会員相互の親睦と知識を広

竹内校長(右から2人目)に目録を手渡す安井IM委員長(同3人目)、石塚IM記念プロジェクト委員長(同4人目)ら(和歌山西ロータリークラブ提供)



めるため毎年開催している会合「インターシティミーティング(IM)を、ことは新型コロナウイルス感染症防止のため中止し、本年度の活動テーマ「育む」から、スポーツを通じた子どもたちの成長

互の親睦と知識を広

を見守るために協力できることを考え、記念プロジェクトとして実施したもの。同校が選ばれたのは、昨年ドラフト1位指名で小園健太投手と松川虎生捕手がプロ野球チームに入団したこと、同校が

「猛暑は熱中症の問題だけでなく、土気も下がるのでそれが改善できたらうれしい。快適な環境でスポーツに励んでもらえるよう、若い世代のスポーツ全般を応援していきたい」と

石塚IM委員長はプロジェクト委員長は

校が行う子どもたちの体と心を育むスポーツ教育に感銘を受け、「スポーツ奨励協力金」として贈られた。

贈呈式には、和歌山西ロータリークラブから石塚宏介IM記念プロジェクト委員長、安井健IM委員長、同クラブで講師を務める同市出身の元プロ野球選手、井上紘一さんが出席。竹内伸之校長と半田真一野球部監督が目録を手渡した。